

ふれあい記録

実施日：2024年11月22日

当番者名 西村寿文・鶴岡 重典

コース名：矢倉岳（870m）から夕日の滝
天 候：晴れ

（通し番号 第200回）

参加者名：石井 公子、江口 正彦、田中 宏巳、鶴岡 重典、西村 寿文、船橋 エイ子、
細谷 清志、和田 龍子、（8名）

<ビジター> 笠井 欣三、斎藤 國男（2名）

計10名（内、男性7名 女性3名）（五十音順・敬称略）

交通：集合 小田急線新松田駅改札 8:30

往路 京急（特急）金沢文庫駅 6:22 発 ⇒ 横浜駅 6:51 発 ⇒ 海老名 7:46 発
⇒ 新松田 8:21 着

復路 地藏堂バス停 16:40 発 ⇒ 17:07 関本着 大雄山 17:14 発 ⇒ 小田原 17:35 着
小田原 17:52 発 ⇒ 大船 18:27 着（各自のルートで帰宅）

コース（歩行時間・距離） 約5時間・約7km

本村バス停 9:23 着 ⇒ 【歩2分】 ⇒ 本村公民館 9:25 着（挨拶・体操）、本村公民館
9:50 発 ⇒ 【歩130分】 矢倉岳山頂 12:00（昼食）12:30 ⇒ 【歩25分】 清水峠（山
伏平）13:00 発 ⇒ 【歩90分】 14:30 着 地藏堂 14:45 発 ⇒ 【歩25分】 15:10
着 夕日の滝 15:20 発 ⇒ 【歩20分】 15:40 着 地藏堂バス停

みどころ：

- ・まずまずの好天で、矢倉岳山頂より、箱根連山、小田原平野を眺望することができた。残念ながら、富士山方面は雲が出ており富士山の雄姿を拝むことはできなかった。
- ・山の紅葉は全般的に終わったようであったが、里では所々で紅葉を楽しむことができた。
- ・夕日の滝は今回の最後の見どころとなったが、見事な滝で疲れた心身を和ませてくれた。

自然観察：

- ・紅葉を期待していたが、残念ながら少し遅かったようであった。
- ・矢倉岳下山開始すぐに赤い実をたわわに付けたマユミの木が数本見られた。
- ・下山の途中で観た、真っ赤な1本のまむし草の実が印象的であった。

特記事項：

- ・当初の予定日（11月21日）が天候不良のため、予備日の22日に変更した。結果的には、前日（21日）に比べ好天に恵まれ、気温も山歩きに丁度良く、楽しい山旅ができたと思う。
- ・上り、下りともきつめのため、余裕を持ったスケジュールを組んだが、参加者全員の頑張りですべて予定より早く、無事に全行程を終了することができた。（参加者の皆さんに感謝!!）
- ・地藏堂から夕日の滝へ行く途中に数枚イノシシの皮が干されていた。また、金太郎の生家跡があった。

「ふれあい記録」メール送り先：江口・熊谷